

聖

と性
な妹
と。

Adult
only

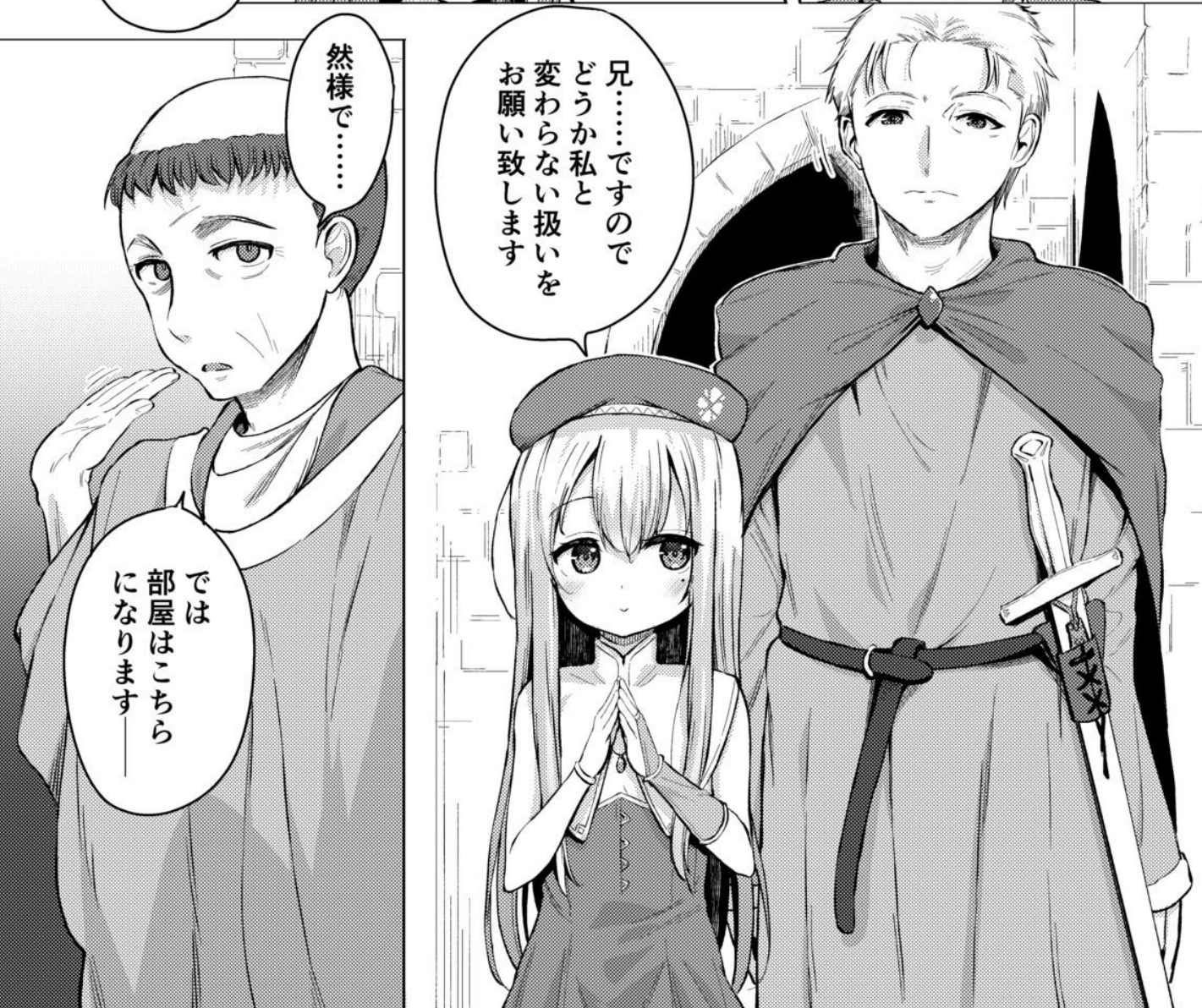
R18

聖

と性な妹。

Adult
only

R18



ギョー

ふう……

なんだか
だましてるみたいで
後ろめたい気持ち
が少しありますね

嘘は言っ
てないんだから
別にいいだろ

巡礼の道中
ってのは
本当だ

ん……

兄様……
そろそろ

ただそれとは別に
成さなければ
いけないことが
あるってだけで——
っておい

そう
この旅の目的は
別にある

ギョー

国の端にある聖地へ赴き
聖女にかけられた
淫魔の呪いを
解くという目的が

お願い……
します

ドキ

ドキ

兄様——
私……どうやら
呪われてしまった
みたいです

チカがそう俺に
報告してきたのが
およそ半年前

現在わが国——
より正確に言えば
わが国を含む連合国は
東の帝国と幾年にも及ぶ
戦火を交えている

山国
(わが国)
エサン
帝国

聖女は国の象徴であり
またその奇跡を
行使できる身は
敵国にとって
厄介な戦力でもある
それ故に敵の呪術の
対象となったのだらう

何故このような
呪いなのかは
推測しかできないが

妹が言うには
呪殺などとは違い
衰弱させるものではなく
見方によっては
元々備わっている本能等を
強めるものであるため
害を防ぐ加護を
通り抜けやすいこと

また奇跡の力が
処女性による神聖さと
つながっていると巷では
信じられているからだらう
とのことだった

呪いの印

つまり非処女に
してしまえば
無力化できると
考えたのだらう

まあ現状を
見ればわかる
通りそんな事実
はないのだが

どうやらこの呪いは
精液を得ると一次的に
納まるらしく

公にするわけにもいかず
他所の人間を巻き込む
わけにもいかないのだ
現状兄である俺が
その役割を担っている

もともと
本当に俺で
よかったのか
という疑念は

つねに
ちらつく

いくら
外に漏れないとはいえ
兄とやっている
というのはどうなのか

……とまあ
そんなことを
思いつつも

結局
手を止めたこと
などないのだから

あっ♡
そっ♡

単にどこかで
自分は常識人だと
信じたいただけ
なのだろうな
という気もする

きもちー

れすっ♡

チカは
かわいいなあ







兄様だって
髪サラサラ
ですし……あっ♡



私だって
別に……

俺には高潔さや
高適さなど
みじんもないけどな……



別に？

いえー
♡ あっ♡





入れただけで
この蕩けっぷり



相変わらず
膣内ギチギチに
締めつけてくるし……



チカ
妹のこんな顔なんて
ちよっと前まで
想像したことすら
なかったのに





この呪いは
一発では
満足しない
ということだ

主から授かった力を
こういうことに
使ってしまうのは
どうかと自分でも
思うのですが……

これで——
まだ
できますよ
ね？





処女性が
聖性と
関係がないのは
まだわかる



俺もつくづく
思うんだが



だが
こんなに兄妹で
放蕩の限りを
尽くしていたら
さすがに主に
見放されるのでは？

兄様はその――

妹のおまんこに
挿れるのが
好きでは
ないのですか？

それとも
……んっ♡

聖女の
はしたない姿を
見過ぎて呆れて
しまったら
のでしょうか

いや
そんなことは……



— 聖女様の
お気に召すままに

ズッ



おっ

イェッ

まったく
呆れるんじゃないかと
ハマりすぎて
戻れなくなるから
困ってるってのに



ぶっ



では

遠慮なく
再び兄様の子種を
妹のおまんこに
注いでください♡

見放されることなど
ないと聖女である
この私が
保証致します♡

ぬ

ぬ



ぐり

いじりすぎて
大きくなった
クリとか

ぐり



この
ぷっくりとした
乳首とか

ぐり

ぐり

アキッ♡

おちんぽから
おせーし
ぴゅっぴゅって
でそーでしゅか？♡

かっ

はぁっ

はぁっ

アキッ♡

ふふっ♡ もう
でそーですか？

アキッ♡

アキッ♡

ドキ♡

注いでくださーい♡

はっ♡

はっ♡

では妹聖女まんこに
あちゅいの♡

ドキ♡

射精る……！

はぁっ♡
バキッ♡

ぬちゅっ♡



あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー



あとがき

有難いことにx-erosの方に載せて頂くことになりましたので
現代ものはそっちで描いてこっちはファンタジーでも
描いてみるかーと思ったまではいいもの兄妹をプラス
してこのページ数となるとどうまとめたのかと頭を
悩ませることになりました。
ほんとはいろいろ設定あったのですがえっちな漫画で
そこらへんにページ数割くのものなと思いあくまで
雰囲気としての味に留めてだいぶ削っています。
というわけで以下ちょっとした(削ったうち入れても良かったかな
と思ううちの)蛇足ニおまけです。 //びざぬこ

・神を信じるのが当たり前の世界で千力は神を信じていなかった。
より正確に言えば一般に信じられている神と教会は、である。
千力は愛とは尊いものだと思っていたし、それが故に性と近親者が
絡んだとたん禁じられる戒律が理解できなかったのだ。

先代の聖女の宣託によって次代の聖女であることを教えられたのは、
そんな彼女が十の誕生日を迎えた日のことだった。
これは神がいる証なのだろうか？ それともいない証なのだろうか？
私なんかが選ばれるなんて。
千力は思いを巡らせた。
もし神がいるなら私のこの気持ちも神が肯定したことになるのだろうか。
——それはいい。
今日から私は信心深い聖女である。
いるかいはいかはわからないけど、いることにしよう。
もとより信仰とはそういうものなのだから。
こうして兄が大好きな少女は立派な聖女となったのだった。

●発行日：2022/12/31

□サークル：創攻線

発行者：びざぬこ

連絡先：soukousen0@yahoo.co.jp

twitter:@pizaru

pixiv id:49100

印刷所：株式会社サングループ様



2022/12/31
Soukousen/pizonuko



2022/12/31

soukousen/pizanuko